

タイトル：

老後を旅する航海

-デイサービスの生活記録-

期間：

六月見学、七月材料準備、八月実施始まり、十月展示

目的：

利用者の日常的な体操トレーニングに「アート」を導入し、アートの介入を通じて、アートが高齢者の機能トレーニングに有効な要素であることを証明する。アートインスタレーションの環境は、高齢者に新しい刺激を与え、興味を引き付けることができる。これは、彼らの注意力や集中力を向上させ、体操トレーニングへの関心を高める効果がある。

コンセプト：

エピソード（仮説）

「東松山で航海するの？」

東松山では、地域の高齢者たちが身体的な制約や地理的な理由から実際に海に行くことが難しい状況にある。このアートプロジェクトは、高齢者たちに航海の楽しみを提供し、運動と組み合わせた活動を通じて新しい刺激を与え、コミュニケーションを促進することを目指す。



高齢者たちに海へのアクセスが難しい状況を解消し、航海の楽しみを提供する。

参加者が海賊役を演じながら、ダンボール製の船を漕ぎ、運動とアートを融合した活動を楽しむ。

A 介護スタッフの掛け声に合わせて体操



B リズミカルな音楽を聞きながら、介護スタッフの掛け声に合わせて体操



C エピソードに合わせて、アートインスタレーション（視・聴・触）における体操

予想図：

